

1. 自己紹介

大分大学大学院福祉健康科学研究科臨床心理学コース 1年の金丸芽生(かねまるめい)です。学部
のときは、福岡県立大学人間社会学部人間形成学科の心理学コースに所属していました。心理検査や
面接など、実践力を身につけるために、学内実習・学外実習ともに充実している大分大学大学院への
進学を決めました。

子どもの頃の夢は学校の先生だったのですが、自分には教師は向いていないかもしれないと思い始
め、将来の夢がなくなって悩んでいたときに、高校の恩師から、「自分は心理学を勉強してから教員免
許を取った。今の仕事に生きている部分も多いし、そういう方法もある」と教えていただいて、たしか
に心理学って面白そうだなと思ったのが心理学を学ぼうと思ったきっかけです。心理学を勉強してい
ると言う、「え！じゃあ今何考えてるか当ててみて」と面白がられますが、実際は人の心なんて読め
ません。大学に入ってすぐの講義で、メンタリストにはなれないとはっきり言い切られたのですが、本
当にその通りで、いくら理論を勉強しても、いくら人と話をしても、自分ではないだれかの心を完璧に
読み切ることはできないし、考えれば考えるほどわからなくなっていった、でもそこが面白いところな
のかもしれないなと思っています。

趣味は、バレーボールと、ピアノを弾くことと、ゲーム実況動画を見ることです。
大学院に入ってから忙しくて行っていませんが、ヒトカラも好きです。

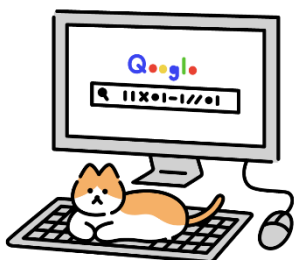


2. 卒論テーマ・タイトル・概要

卒論タイトル「呼称者との関係性および呼称の種類が呼称者の印象に与える影響」

自分にとって、それまであまり親しいと思っていなかった相手からあだ名で呼ばれたことで、その人
に対するイメージが変わったように感じ、相手との関係性や、名前の呼ばれ方がどのように対人イメー
ジに影響するのか気になって、このテーマに決定しました。

自分の名前を呼ぶ人(呼称者)を親しさで3種類に分類し、名前の呼ばれ方(呼称)も「さん付け」「く
ん・ちゃん付け」「あだ名・呼び捨て」の3種類に分類し、9パターンの組み合わせによる対人イメー
ジを比較して分析しました。



分量はA4で44ページ、17,700字です。文字数やページ数の指定は
なかったのですが、**文系の学部生であれば2万字を目安**にするとよいと思
います。ゼミの先生からは、文字数よりもわかりやすさを重視しなさいと言わ
れました。特に指定がなければ気にしなくて良いと思いますが、不安だつた
ら先生に質問してみてください。

3. 完成までのスケジュール

| 時期 | 内容 |
|--------|--------------------------|
| 2年生の終盤 | 自分の興味のある内容をいくつか考えつつ、ゼミ訪問 |
| 3年生の前期 | ゼミ所属、興味のある内容を絞り、先行研究を読む |
| 後期 | テーマを決め、問題と目的、方法まで作成 |
| 4年生の4月 | 質問紙を作成 |
| 5～6月 | 質問紙調査実施 |
| 7月 | 中間発表 |
| 8～9月 | 院試 |
| 10～12月 | 分析、結果、考察の執筆 |
| 1月 | 提出締め切り |
| 2月 | 卒論発表会 |

4. ポイント・感想・反省点

3年前期からゼミに配属されるため、卒論の取り掛かりは早いほうで、先行研究を読む時間もたくさんありました。そのため、思いのほか余裕をもって完成させることができました。ただ、先行研究を参考に自分で作った尺度を使用したため、因子分析に苦戦しました。

統計や分析方法で行き詰ったら、**早めにその分野に強い先生のところに相談に行く**ことをお勧めします。また、質問紙などでデータを集める前に、どういう分析をするのか細かく計画を立て、予想通りのデータが集まらなかった場合や予想通りの結果が出なかった場合の打開策まで考えておく心安いです。

5. 活用したツール、おすすめの資料

私はゼミの先生に教えていただいた「Cinii(サイニー)」という論文検索サイトを活用していました。先行研究をたくさん読むと、内容に詳しくなるだけでなく、論文の構想や書き方の勉強にもなるので一石二鳥です！

6. 後輩へのメッセージ

完成までのスケジュールを書きましたが、取り掛かりは早いに越したことはないし、常に見通しをもって進めることが大切です。一人で書き上げるのは難しいと思うので、ゼミの先生や先輩にたくさん質問してたくさんアドバイスをもらってください。もちろん私たちチューターも全力で力になります！